

コード No. 28053

**Anti-  
APP (18) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

- はじめに : アミロイド前駆体タンパク (APP)はアルツハイマー病における老人斑の主要構成成分であるアミロイド β (Aβ)の前駆体タンパクであり、スプライシングの違いから主に3種のアイソフォーム (APP695, APP751, APP770)が存在します。このタンパクの代謝経路の主なものαセクレターゼ、γセクレターゼによる切断を受ける経路(Aβ非産生経路)とβセクレターゼとγセクレターゼによる切断を受ける経路(Aβ産生経路)です。前者の代謝経路からは切り出されたAPPのN末部分が分泌型 APPα (sAPPα)として産生され、後者の経路からは分泌型 APPβ (sAPPβ)とAβが産生されます。Aβドメイン両端、つまりβセクレターゼ、γセクレターゼ切断部位近傍のAPP遺伝子変異が家族性アルツハイマー病で確認されており、APPからのAβ切り出しの過程がアルツハイマー病発症に重要であることが強く示唆されております。APP自体の生理的機能についてはまだ不明な点が多いのですが、神経系と他の臓器とでは、その機能が異なると考えられています。
- 免疫抗原 : Human APP の N 末\*部分合成ペプチド (LEVPTDGNAGLLAEPQIAMFC)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定  
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : ウェスタンブロッティング 1~5µg/mL にて使用可能
- 特異性 : ヒト、マウス、ラットと反応  
sAPPα、sAPPβとも反応
- 参考文献 : 1. Citron M, Oltersdorf T, Haass C, McConlogue L, Hung AY, Seubert P, Vigo-Pelfrey C, Lieberburg I, Selkoe DJ. Mutation of the beta-amyloid precursor protein in familial Alzheimer's disease increases beta-protein production. Nature. 1992 Dec 17;360(6405):672-4.  
2. Goate A, Chartier-Harlin MC, Mullan M, Brown J, Crawford F, Fidani L, Giuffra L, Haynes A, Irving N, James L, et al. Segregation of a missense mutation in the amyloid precursor protein gene with familial Alzheimer's disease. Nature. 1991 Feb 21;349(6311):704-6.  
3. Selkoe DJ. Normal and abnormal biology of the beta-amyloid precursor protein. Annu Rev Neurosci. 1994;17:489-517.